

インド通信

みやぎ海外絆大使
JICA 海外協力隊
澤村啓之

インド通信第 16 号です。

今回は私が勤務する学校の生徒についてお話しします。

まず、インドの教育システムですが、小学校 5 年と中学 3 年の 8 年間が義務教育です。そのあと 2 年間の日本でいう高校教育を受けた後は大きく 2 つのルートに枝分かれします。1 つは大学進学ルート、もう 1 つはポリテクニク進学などの職業訓練ルートです。

ポリテクニクは 3 年コースで職業技術を習得しますが、理論の座学中心のためどうしても実技演習に割くウエイトが低いのが実態です。

そこでスキルにフォーカスした実習中心の教育を受けさせるためポリテクニクは学生を我が職業訓練校に 3 カ月程度派遣してきます。

つまり、真に産業界が求める技術スキルを持った技術者を養成するためにカルナタカ州政府は実技中心の職業訓練校を設立したというわけです。

ポリテクニクから来た学生たちは実技のために用意された実習装置、機械に触れて目を輝かせます。いままで学んできた理論を確かめるように生き生きと実習しています。

PC を前に IT 技術習得に一生懸命な女子学生、安全防具を身にまとい火花を散らせながら溶接実習をする別の女子学生、実際に自動車部品を触りながら整備実習をする男子学生。

昨年は 2,000 名の学生が修了し産業界に羽ばたきましたが、今年の目標は 3,000 名です。Make India、Skill India をスローガンに掲げるモディ政権。インド製造業の発展に寄与できる熟練スキル人材の育成で我が学校もインドの発展に貢献していきます！！



IT のクラスは女性中心



溶接を学ぶ！



自動車整備実習